

マスタークラス募集要項

応募資格：13歳以上の音楽学生、演奏家。国籍不問。

指導内容：原則として12日間。各受講生は期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講。伴奏、通訳付き。受講生はどのクラスも聴講自由。

費用：入学金:15,000円

★リピーター割引あり

2年連続で受講される場合は入学金を5000円割引、前回受講時から5年以内*に再度受講される場合は入学金を3000円割引いたします。割引金額の合算はできません。

*2021年～2024年に受講された方を対象とします。

授業料:160,000円

特別講座(オーケストラスタディ・初見):15,000円(各回)

特別講座(室内楽):1名につき60,000円(全4回)

特別演習:コンサート1回につき60,000円(リハーサル2回、ゲネプロ1回を含む)

応募締切：2025年12月15日(月)必着

合格発表：2026年1月中旬～下旬 応募者全員にメールでお知らせします。

会場：関西日仏学館(京都) 他

練習場所：期間中、希望者に斡旋(要予約)

宿泊施設：希望者には合格後、予約申込書をお送りします。

受講申込：

■ 下記のオンライン受講申込フォームに必要事項を記入し、送信してください。

<https://forms.gle/WfEtM78ux2WtE1vQA>

※ 公式サイトでは受講申込書のダウンロードも可能です。受講申込書による応募を希望する場合は必要事項を記入の上、郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

■ 審査用の資料は下記の方法で提出してください。

- 演奏動画(必須)：過去1年以内に収録した15分以内の演奏動画。曲目自由(ただし声楽クラス希望の場合、フランス語のアリアまたは歌曲1曲と、自由曲1曲)。Youtube等の動画投稿サイトに動画をアップロードし、共有URLを受講申込フォーム内に記入してください。動画が再生できることをご自身で必ず確認してください。動画は限定公開可。DVD等の物理メディアの提出は受け付けません。
- その他の資料(任意)：推薦状やプレス記事、コンサートチラシなど(A4サイズに収めること)。郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

■ 申込時点で18歳未満の場合は、保護者の氏名、住所、捺印、同行の有無を明記した書面(書式は自由)を郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

※ 提出された添付資料はお返ししません。

※ 室内楽/特別演習のみの受講は、グループでの応募に限り可能です。グループの代表者が必要な資料を添えてお申し込みください。

お申込はこちらから



イベントのご案内

公開レッスン

3月28日(土)、29日(日) 11時30分～18時30分

アカデミーの授業は非公開であるため、期間中に各教授1回60分の公開レッスンを全クラス行います。

会場：関西日仏学館(京都) 稲畑ホール

聴講料：2,000円(科目1教授につき)

7,000円(1日通し券)

聴講券：2026年1月発売予定

※受講生は入場無料



第35回 京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート2026

4月4日(土) 14時開演

アカデミーに招聘された教授陣によるコンサート。

会場：京都府立府民ホール“アルティ”

入場料：4,000円(一般)

3,000円(学生/クラブ・フランス会員)

協力：エラート音楽事務所

Tel. 075-751-0617

チケット：2026年1月発売予定

※受講生は入場無料



音楽学 特別レクチャー

4月2日(木) 15時～17時

上田泰史氏(京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授)を講師に迎えて、音楽学に関する特別レクチャーを開催します。

会場：関西日仏学館(京都) 稲畑ホール

聴講料：1,500円(一般)

1,000円(学生/クラブ・フランス会員)

聴講券：2026年1月発売予定

※受講生は入場無料

受講生コンサート

4月5日(日) 13時開演

各クラスから選ばれた優秀受講生のコンサートを開催します。

会場：京都市立京都堀川音楽高等学校 ホール

入場料：無料



お問合せ・お申込先：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

Tel. 075-761-2114 (日・月・祝休) | Fax. 075-761-2169 | Mail. academie@institutfrancais.jp

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 関西日仏学館(京都)内

名誉会長：駐日フランス大使

実行委員長：サンドリン・ムシェ(在京都フランス総領事、関西日仏学館館長)

※このパンフレットの記載内容は予告なく変更される場合があります。最新情報は、公式サイト(academie.institutfrancais.jp)をご確認ください。

第35回

京都フランス 音楽アカデミー 受講生募集

ACADÉMIE DE MUSIQUE FRANÇAISE DE KYOTO

フランスの一流演奏家たちが京都に集結する、特別なマスタークラス！

現地さながらの環境で、本物のフランス音楽教育を体験してみませんか。

2026年3月24日(火)－4月5日(日)

※4月4日(土)は教授陣によるコンサートのため休講

応募締切 | 2025年12月15日(月) ※必着



主催：京都フランス音楽アカデミー実行委員会

後援：京都市、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、在京都フランス総領事館

助成：笹川日仏財団

協賛：稲畑産業株式会社、パウエル・フルート・ジャパン、株式会社 ビュッフエ・クランボン・ジャパン、株式会社 Liuteria-TAKADA、株式会社 旭堂楽器店

協力：京都女子大学、ANAクラウンプラザホテル京都、ヴィラ九条山

教育提携：パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院

公式サイト



お問合せ：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 関西日仏学館(京都)内

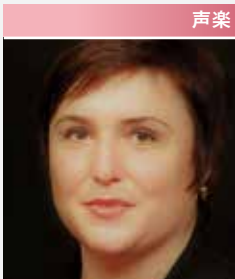
Tel. 075-761-2114 | Fax. 075-761-2169

academie@institutfrancais.jp | academie.institutfrancais.jp

マスタークラス 募集人数 | 各クラス12名

京都フランス音楽アカデミーは、フランスからトップクラスの音楽家を招聘し、演奏家の育成と音楽を通じた文化交流を目的とする日仏音楽事業です。1990年にヴァイオリニスト森悠子氏と当時の関西日仏学館館長ミッシェル・ワッセルマン氏の主導により第1回アカデミーを開催して以来、毎春、フランス政府公式機関である関西日仏学館（京都）にて、声楽、ピアノ、弦楽器、管楽器の約2週間のマスタークラスを開講しています。このアカデミーは、その規模や歴史、水準の高さから、フランス国外で開催されるフランス音楽教育の場として、最も重要な存在となっています。

招聘教授プロフィール



シャンタル・マティアス
Chantal Mathias
パリ国立高等音楽院教授

パリ国立高等音楽院およびラン国立歌劇場スタジオ「ジュヌ・ヴォワ・ドゥ・ラン」で学ぶ。アヴィニョンでのロッシェニ「ランスへの旅」コルテゼ夫人役と、ブラハでのブーランク「人間の声」でキャリアをスタートする。10年間リューベック歌劇場（ドイツ）の専属歌手を務め、「カルメン」ミカエラ、「ファウスト」マルグリット、「メリー・ウィドウ」、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「魔笛」パミーナ、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラ、カールマン「チャールダーシュの女王」、チャイコフスキー「エフゲニー・オネーギン」タチヤナ、ヘンツェ「若い恋人たちへのエレジー」エリーザベト・ツィンマー、マスネ「サンドリヨン」や「グリゼリデス」等、出演多数。また、サヴォンリンナ（フィンランド）、ボルト（ポルトガル）、ゴールド（フランス）、ソウルや亀尾（韓国）等の室内楽フェスティバルにも参加。現在、パリ国立高等音楽院教授、MusicAlp国際音楽アカデミーや「アトリエ OperaOff」での指導も行う。



クレール・デゼール
Claire Désert
パリ国立高等音楽院教授

ラ・ロック・ダンテルオン等の有名音楽祭に常連として出演する他、国際的な舞台に多数出演。ソリストとしては、パリ管弦楽団等の主要オーケストラや、マレク・ヤノフスキらの指揮者と共演している。14歳でパリ国立高等音楽院に入学。ピアノをヴェンティスラフ・ヤンコフに、室内楽をジャン・ユボーの下で学び、両科目で1等賞を獲得。同音楽院修士課程では室内楽をロラン・ビッドゥーに師事。エフゲニー・マリニンに見出され、モスクワ音楽院にも留学した。実力派室内楽奏者として知られ、エマニュエル・シュトロッセ、アンヌ・ガスティネルらと定期的に共演している。充実したディスコグラフィの中では、シューマンのノヴェレッテを収録したアルバムがレベルトワール誌で10点を得た他、97年にドボルザークとスクリャーピンの協奏曲の録音でヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック賞受賞。シューマンを収めたCDではテレマ誌「fff」とクラシカ誌「Choc」受賞。現在、パリ国立高等音楽院教授。



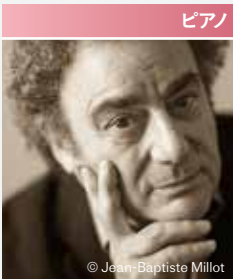
ステファニー＝マリー・ドゥガン
Stéphanie-Marie Degand
パリ国立高等音楽院教授

17世紀から現代音楽までのレパートリーのテクニックをマスターしている今日では数少ない演奏家の1人。パリ国立高等音楽院でジャック・ゲステムらに師事。ソリスト、室内楽奏者、コンサートマスターや指揮者、指導者として活躍し、05年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック器楽ソリスト賞等を受賞。由緒あるホルの数々でエマニュエル・クリヴィヌ等の指揮者と共演する他、室内楽ではマリー＝ジョゼフ・ジュード等と共演。00年、エマニュエル・アイムと古楽アンサンブル「ル・コンセル・ダストレ」を結成。16年、アンサンブル「ラ・ディアヌ・フランセーズ」を設立し、芸術監督に就任。12年以来、パリ国立高等音楽院でモダン、バロックとヒストリカルの各ヴァイオリン科教授を務める。ディスコグラフィはこの稀有な多才ぶりを反映し、モンデヴェルディからタンギーまで網羅している。20年、バッハのソナタ全集でディアパゾン誌金賞とクラシカ誌「Choc」受賞。22年、コンセル・バドルー管弦楽団を指揮し、パリでの指揮者デビューを果たした。



ピエール・レネール
Pierre Lenort
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

驚くべき自在さを備えた演奏が高く評価されており、ピアニスト広瀬悦子とのデュオによるCD「情熱」ではクララ・シューマン、ブラームス、ヨアヒムに至高のオマージュを捧げている。また、アンサンブル「レネール・ファンタジー・グループ」でオペラからシャンソンまで独創的なレパートリーに取り組む。65年のエマニュエル・ヴァルディ以降、ヴィオラでバグニニ「24のカプリース」の録音に挑戦したヨーロッパで唯一の演奏家。これまでにヴェータン「ヴィオラとピアノのための作品集」等のCDを発表。最初の師は父ジャン・レネールで、その後ユーディ・メニューインと決定的な出会いを果たす。フィリップ・モリス財団や主要な国際コンクール（ライオネル・ターティス、マルクノイキルヘン、モーリス・ヴェー）の受賞者でもある。パリ国立歌劇場管弦楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。セレナード国際室内楽フェスティバルとル・グー・ドゥ・ラ・ミュージック・フェスティバルで芸術監督を務める。パリ・エコール・ノルマル音楽院およびクレティユ音楽院教授。



ブルーノ・リグット
Bruno Rigutto
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

パリ国立高等音楽院でピアノをリュセッ・デカウヴに、室内楽をジャン・ユボーに師事。同院では作曲と指揮も学ぶ。ロン＝ティボー国際コンクールとチャイコフスキー国際コンクールで入賞。10年間サンソン・フランソワの唯一の弟子となる。若くして国際的に認められ、カルロ・マリア・ジュリーニ、ジョルジュ・ブレートルら著名な指揮者たちに招聘される。室内楽にも力を注ぎ、アイザック・スターンやムスティスラフ・ロストロポーヴィチ等と共演。DECCA、EMI等のレーベルでレコーディングも多数行い、ディスク大賞を複数回受賞。19年、Apartéレーベルよりショパンのノクターン全集の新録音を発表。指揮者や作曲家としても活動し、舞台や映画音楽にも関わる。アルド・チッコリーニの後を継ぎ、パリ国立高等音楽院では20年以上にわたり教鞭を取った。現在はパリ・エコール・ノルマル音楽院教授であり、ヨーロッパや日本で定期的にマスタークラスも行っている。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受章者である。



パスカール・ロジェ
Pascal Rogé
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

フランス・ピアノリズムを代表する名手として活躍する演奏家。パリに生まれ、パリ国立高等音楽院で学ぶと共に、ジュリアス・カッテンヤ、かの偉大なナディア・ブーランジェにも薫陶を受けた。ジョルジュ・エネスク国際コンクール入賞および、ロン＝ティボー国際コンクール第1位を受賞後、17歳でデッカ・レコードの専属アーティストとなる。ブーランクやサティ、フォーレ、サン＝サーンス、そして特にラヴェルとビュッシーの作品の演奏において、その優雅さや美しさ、精緻なフレージングが際立っている。これまでに世界中の主要なコンサートホールで公演を行っており、あらゆる有名オーケストラや、最も名高い指揮者達との共演を重ねている。若い世代の新進アーティストにも関心を寄せており、ロンドンのトリニティ・ラバ音楽院や英国王立音楽院にて客員教授を務める。また、パリ・エコール・ノルマル音楽院では教授として後進の指導にあたっている。



レジス・パスキエ
Régis Pasquier
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

幼少時より音楽に触れた早熟の才能は、12歳にしてパリ国立高等音楽院でヴァイオリンと室内楽の1等賞を受賞。14歳で渡米し、アイザック・スターン、ダヴィット・オイストラフ、ピエール・フルニエ、ナディア・ブーランジェと出会う。数年後、ジノ・フランチェスカッティがその才能に惚れ込み、共にバッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。各国の有名オーケストラにソリストとして招かれ、ロリン・マゼール、ジョルジュ・ブレートルら名指揮者と共演し、不動の評価を得る。室内楽では、アイザック・スターン、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチらと共演。91年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック年間優秀ソリスト賞および、ヌーヴェル・アカデミー・デュ・ディスク特別賞受賞。若手育成にも力を注ぎ、85年～11年、パリ国立高等音楽院教授。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ステファン・グラッペリの招きで複数のジャズコンサートに出演するなど、ジャズ愛好家でもある。



ジュリー・セヴィヤ・フレッス
Julie Sévilla Fraysse
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

自由で洗練された解釈によって、チェロに独自の深みのある響きを与える演奏が注目を集めるチェリスト。パリ国立高等音楽院とエリザベート王妃音楽院で学んだ後、ギャルド・レビュプリケーヌ管弦楽団とパリ国立歌劇場管弦楽団に所属。さらにヨーロッパやアメリカの舞台でソリストとしてのキャリアを積み、オーケストラとの共演やリサイタルを通してレパートリーの傑作の数々を演奏してきた。多くの音楽祭にも招かれ、アブデル・ラーマン・エル＝バシャ、ローラン・コルシア、ロベルト・アラニア、アナスタシア・カルムスらと共演。また、イヴァン・カッサールやヴァンサン・ビダル（映画音楽）、パレエダンサーのユーゴ・マルシャらと共に多様なアートコラボレーションも探究している。指導者としても活発に活動し、国際的なマスタークラスで指導を行う他、パリ・エコール・ノルマル音楽院にて教鞭をとる。社会貢献にも取り組み、Pax MusicaやCoCreateHumanity等の団体が人道的・社会的な支援に尽力している。

1990年の第1回開催以来、これまでに延べ3800人以上の優秀な若手演奏家が京都フランス音楽アカデミーを受講しました。

先生のレッスンは非常に細かい確で分かりやすく、すぐに上達を感じられる革命的なレッスンだと思いました。

全てのレッスンを通して、演奏する時に何を考えなければいけないか、テクニックや音楽の流れ方などを分かりやすく教えてくださったため大変勉強になりました。また、フランスの特色や文化なども交えて教えていただきとても楽しく学べました。

海外の教授から直接ご指導いただけたり、楽器の種類を問わず自由に聴講することができたり、とても貴重で充実した期間でした。

受講生の声（第34回アンケートより抜粋）



マチュー・プティジャン
Matthieu Petitjean
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

パリ国立高等音楽院でジャック・ティスに師事した後、ドイツでオーケストラでのキャリアを開始。ニーダーザクセン州立歌劇場に続いてバイエルン国立歌劇場で首席オーボエ奏者を務める。7年間にわたりドイツの伝統に関する深い知識を得ながら確固たる評価を築き、フランクフルト歌劇場等の主要オーケストラにも招かれた。イギリスのバルビローリ国際コンクールでフランス人初の優勝を果たして以来、ウィグモア・ホール等の舞台でソリストとしても活躍。モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の首席オーボエ奏者に就任後はさらに名声を高め、フランス国立管弦楽団等の有名オーケストラと共演。小澤征爾が創設・指揮したサイトウ・キネン・オーケストラには10年近く参加した。リッカルド・ムーティ、ズービン・メータら著名指揮者との共演多数。ザールブリュッケン音楽大学で5年間教鞭をとった後、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授に就任。日本、韓国ほか各地でマスタークラスも行う。



ジャン・フェランディス
Jean Ferrandis
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、アダージョを聞いたバーンスタインに「彼はまさにパン（牧神）である!」と言わしめるほど称賛を得たフルーティスト。リヨン国立高等音楽院を卒業後、ブラハの春国際音楽コンクールで優勝。以後、カーネギーホールやシャゼリゼ劇場など、各国の有名ホールでリサイタルや室内楽の公演を行う他、ソリストとしてオーケストラと共演。多くの音楽祭にも招かれ、ジャン＝フィリップ・コラール、アンリ・ドゥマルケット、イヴリー・ギトリス、ジャン＝マルクル・イサダらと共演している。録音ではあらゆるフルートのレパートリーを取り上げ、22年にはモーツァルトのフルート四重奏曲全集を発表。世界初演となったアレクサンドル・デスプラの「ペレアスとメリザンド」等、現代の作曲家の作品を演奏することも多い。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校で教鞭をとる。ヨーロッパ、日本、韓国、アメリカでは定期的にマスタークラスでの指導も行う。

声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器クラス

レッスンはすべてマンツーマンで行われます。各レッスンに伴奏、通訳がつきます。課題曲は設けず、各受講生の希望する曲を指導。各受講生は、期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講します。個人レッスン以外の時間帯には、他の受講生のレッスンや、他の科目のレッスンも自由に聴講していただけます。日本にいながらにして、まるでフランスの音楽院で学んでいるかのような環境を体験できる、またとない機会です。都合の悪い日に個人レッスンが当たらないよう、ある程度の調整は可能ですが、期間中はなるべく毎日出席することをおすすめします。

※特別聴講制度 受講生以外の方にもアカデミーのレッスンをご覧いただけるよう、特別聴講制度を設けます。聴講料：7,000円(1日)。未就学児不可。詳細はアカデミー事務局までお問い合わせください。

特別講座 / 特別演習

パリ国立高等音楽院のディアナ・リゲティ教授を迎え、フランスの音楽教育ならではの特長を生かした3つの特別講座や、リハーサル～本番までの流れを体験できる特別演習を開講します。

■ **オーケストラスタディ**: オーケストラのオーディション対策に特化したレッスンを開講。弦楽器クラスのアカデミー受講生対象。各日1回90分。楽器ごとに日程が異なります。ヴァイオリンは2日間の受講も可。

■ **初見**: フランスの音楽教育において特に重視されている「初見」を実践的に学ぶ講座。フランスへの音楽留学を考えている方には特に受講をおすすめします。ピアノ・弦楽器クラスのアカデミー受講生対象。各日1回90分。1人何回でも受講可。

■ **室内楽**: ピانو・弦楽器クラスのアカデミー受講生を対象に、デュオ、トリオ、カルテットのメンバーを事前に募集します。グループでの応募も可。各日1回1時間。アカデミー期間中にグループごとに全4回のレッスンを行います。

■ **特別演習「Concerts fleuris - コンセル・フルリ」**: チェリストである教授と共に室内楽作品を演奏するプロジクト型教育プログラム。1作品(15分程度)につき2回のリハーサルと1回のゲネプロを行い、ランタイムにミニコンサートを実施します(入場無料)。コンサートのうち1回は、バロック音楽を取り上げる予定です。ピアノ・弦楽器・管楽器クラスのアカデミー受講生対象。グループでの応募も可。詳細は公式サイトをご覧ください。

コンサート開催日:
3月27日(金)、
4月2日(木)、
4月3日(金)

※特別講座/特別演習は原則としてアカデミーのマスタークラス各科目の受講生を対象としますが、特別講座/特別演習のみの受講を希望される場合、事前に音源審査を受けていただきます。詳細はお問い合わせください。また、室内楽/特別演習のみの受講は、グループでの応募に限り可能です。個人での応募はできません。※アカデミー受講生がグループで室内楽/特別演習に応募する場合、受講生以外の方がメンバーとして参加することも可能です。ただし、その場合も各参加者には受講費用(入学金・授業料)をお支払いいただきます。※受講希望者数が一定の人数に満たない場合、開講を中止することがあります。 ※日程や回数、内容が一部変更される場合があります。

